

教 科	理 科	科 目	生物基礎	単位数	3
学 年	3 年	教科書	高等学校改訂新生物基礎（第一学習社）		
学 科	生物工学科・園芸流通科 食品化学科・生活科学科 特用林産科	副教材	改訂ネオパルノート生物基礎（第一学習社）		

学習目標	① 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象への関心を高めます。 ② 目的意識をもって観察・実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を身に付けます。 ③ 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
------	--

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 生物の特徴	・生物にみられる多様性と共通性や細胞とエネルギーについて学習します。
	2 遺伝子とその働き	・遺伝子とDNAや遺伝子の働きについて学習します。
2	3 生物の体内環境	・体液とその働きや体内環境を維持するしくみ、生体防御について学習します。
	4 植生の多様性と分布	・植生と遷移や気候とバイオームについて学習します。
	5 生態系とその保全	・生態系と物質循環や生態系のバランスと保全について学習します。
3	6 探求活動	・実験・観察を行います。
課 題	①予習・復習…教科書・補助教材を用いて予習・復習をします。 ②夏休み課題…環境啓発ポスターの作成をします。 ③冬休み課題…生物学の内容に関係のある新聞などの記事をレポートにまとめます。	

評価の観点	内 容
I 関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
II 思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探求する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
III 観察・実験の技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能を身に付けている。
IV 知識・理解	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から、「定期考査・小テスト」「課題やノートの提出状況」「授業への取組」「出席状況」等をもとに総合的に評価する。 (100点法)

